

- ① …「第9回埼玉県第4種サッカーリーグ」開幕
- ② …「大学サッカーのファンを増やしたい」～埼玉県大学リーグの現状とこれから～
- ③ …運営会議が開催されました
規律委員会からの報告
- ④ …審判委員会より「シーズン前研修会」を開催しました
- ⑤ …審判講習会予定一覧・大会記録●県内大会 1種社会人・3種
- ⑥ …大会記録●県内大会 3種 ●県外大会 4種
- ⑦ …大会記録●県外大会 女子・フットサル インフォメーション・事務局だより・編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

「第9回埼玉県第4種サッカーリーグ」開幕

4月12日から県内各地で、「第9回埼玉県第4種サッカーリーグ」(後援・埼玉県/NHKさいたま放送局/テレ玉/FM NACK 5/埼玉新聞社 協賛・埼玉縣信用金庫/プーマ/コカ・コーラ/ストジャパン/アストロ 特別協力・浦和レッドダイヤモンズ/大宮アルディージャ)が開幕しました。今回は、史上最多となる487チーム(うち29チームは複数出場)が出場し、1ブロックあたり基本、各9チームに分かれて、54ブロックで

の熱戦となります。

ちなみに9チームで1ブロックになったのは、この大会に出場することが今年から12月に開催される「全日本少年サッカー大会」への参加資格となり、JFAから「予選としてのリーグ戦の試合数は16試合以上」と指導されたことを受けたことによるものです。あわせて、年間を通じてより多くの「真剣勝負」を経験してほしいという願いもありますので、ご理解をお願い致します。



写真は東部北地区(渡良瀬運動公園)

「大学サッカーのファンを増やしたい」

～埼玉県大学リーグの現状とこれから～

昨年、東京国際大学が初めて関東大学1部昇格を果たすなど、活性化が著しい県大学サッカー。今どうなっているのか、そしてどこに向かっていくのかを植松孝博・埼玉県大学サッカー連盟評議員長(尚美学園大学サッカー一部コーチ)と高橋洋行・埼玉県学生大学サッカー連盟委員長(共栄大学サッカー一部)に聞いた。

— 今年の県大学リーグはどのように展開するのでしょうか。

植松 今年は1部8チーム、2部9チームでリーグ戦を行います。見どころとしては、残念ながら関東2部から降格した平成国際大学がどんなサッカーを見せてくれるかが楽しみです。この平成国際大学に対して、上位チームである城西大学、尚美学園大学、埼玉工業大学がどう迎え撃つのか。関東のレベルを確認できるいいチャンスです。上位対決はリーグ戦を活気づけてくれると思います。また、中位の共栄大学、文教大学、獨協大学のがんばりにも期待しています。見逃せないと思いますね。



植松孝博氏

— 去年の共栄大学は上位に強かったですね。

植松 尚美は共栄に勝てなかったですね。

高橋 はい(苦笑)。私が一年生のときは一度も勝てなかったんですよ。同級生の中では「自分たちの代になったら」と言いながら強化してきました。徐々に軌道に乗り始めています。

— さて、県と関東ではレベルが大きく違うものなのですか。

高橋 違うと思います。今、1リーグ(インディペンデンスリーグ)に参加しています。そのつながりで都県のチームと練習試合をできるようにになったのですが、一向に勝てません。

「メンタリティが足りない」(高橋)

— 何が足りないと思っていますか。

高橋 メンタリティですね。体格でも負けていませんし、戦術的にも劣っていると思わないのですが。

植松 私は、県リーグは関東のレベルに近づいてきたと思います。指導者のいない大学が多かったですが、大学のバックアップを受けて強化を進めるチームが出てきました。現在の上位4チームは、関東に入り込める力があると思いますね。

ただ、高橋くんの言うことも理解できます。関東大学サッカー

大会(関東への参入戦)を見てみると、大舞台に慣れていないような気がします。関東まであと一歩なのですが、何かしらの“経験”が必要かと思います。

— ただ、その経験は連盟としてではなく、各大学で努力していくことだと思います。

植松 そうです。実際、各大学は1リーグや平成国際大学が主催するチャレンジリーグで経験を積ませていると思いますが、その試合が公式戦ではなく練習試合の延長戦上に位置づけられているように思います。運営に関わる意識もまだまだ低い状況です。それよりも県や市の社会人リーグに加盟させていただき、大人の皆さんと接する中で運営もですがメンタルも養っているような気がしています。

高橋 1リーグに出させていただいています。関東の有名な大学のチームはとてつもなく上手いですね。強いチームだと人数が多く、競争があります。その中で個々のメンタリティが鍛えられると思うのです。また、最近では多くの大学で設備を整えており、選手たちはサッカー中心の生活を送っています。

植松 環境という面で突出しているのは東京国際大学(関東大学2部。埼玉県)ですね。全国的に見ても、ここに対抗できるのが流通経済大学(関東大学1部。茨城県)でしょうか。

今は大学に人工芝のグラウンドがあって当たり前になりました。高校生たちから見たら、大学を選ぶ選択肢は広がっていますね。

— そんな中、共栄大学はクレーのグラウンドでがんばっていますね。

高橋 練習は大変ですが、いずれは人工芝になることを信じて、仲間たちと一生懸命にがんばっています。

— ちなみに人工芝になったらどうなると思いますか。

高橋 サッカーがとてよくなると思います(笑)。

— ここ数年、リーグ戦の試合会場が大学のグラウンドから飛び出し、川口、川越、熊谷、そして埼玉スタと広がっていますね。

植松 大学のグラウンドも素晴らしいのですが、見に来てくださる観客の皆さんへの配慮が乏しいですね。我々としては、大学サッカーファンを増やすことを考えて、スタジアムでの試合開催を進めています。

同時に競技そのもののレベルアップ、試合運営のスキルアップ



共栄大学 vs 文教大学



埼玉工業大学 vs 獨協大学

を目指し、県内においてもできるだけ全国に合わせた環境で試合をさせてあげたいと考えています。ただ残念ながら、大会そのものの規模が小さいものですから、スタジアムに利用申請しても優先順位が低いんですね。その中で各市町協会の皆さんにもご協力をいただいているところです。一昨年の関東大学サッカー大会では鴻巣市陸上競技場を使用させていただきましたが、これは県社会人連盟のご協力があったこと。自分たちだけでは難しいことを実感しました。

——ファン拡大は目指してほしいところですが、残念なことに一部の大学の試合において、メンバー外の選手たちがスタンドから相手選手や審判に野次を飛ばす場面が多々見られます。子どもたちには聞かせたくないですね。ついこの間まで高校生だった彼らが、どうして罵声に近い言葉を投げつけるのか不思議なのですが。

植松 高校時代は身近にコーチや先生がいて制限されていたのですが、大学になると「自己責任」ということで、制限なく汚い言葉を使うんですね。先輩がやりだすと、後輩も真似してしまう。その繰り返しのようになります。改めて注意していきたいと思っています。

「我々が学生にどう向き合うか」(植松)

——共栄大学では、野次は飛ばしませんよね。

高橋 ないです。できるだけ多くの観客の皆さんの前でプレーしたいですね。環境づくりは大切なことだと思います。そのために各大学でしっかりしてもらい、学連の私たちも来ていただく皆さんのことを考えて、試合運営をしっかりしなくてはならないと思います。各大学の担当者に任せるだけでなく、自分から出向いて説明に回る覚悟もあります。



高橋 洋行氏

植松 本来は学生が主体で運営をするリーグではあるのですが、ここ数年指導者が多くなり、運営が指導者主体になりつつあります。そのせいででしょうか、学生を見ていると指示待ちの状態が多く、自分で考えて自発的に行動できるように指導していくのが、我々大人たちの目標でもあります。我々が学生にどう向き合っていくか、も課題ですね。ゆくゆくは彼らがのびのびと大学サッカーを楽しんでくれるといいと思っています。

あと「ファンづくり」についてですが、一度来ていただいた方にはリピーターになってもらいたいですね。公式戦を通じて工夫していきたいと考えています。資金的な問題もありますが、イベントもやりたいですね。とにかく年齢を超えて「大学サッカーって、



共栄大学 vs 尚美学園大学

こんなに楽しいんだ」と伝えたいと思っています。

——最後に埼玉のサッカーファミリーの皆さんにメッセージをお願いします。

高橋 私たち大学生としまして、今いるここよりもさらに上のレベルのサッカーを目指し、観客の皆さん、地域の皆さんに素晴らしいサッカーを見せられるよう努力していきます。その中で地域密着、県社会人連盟との連携をしていき、認知度を上げていきたいと思っています。大学生のサッカーも楽しいと思ってもらいたいですね。

植松 埼玉県から大学日本一を出したいですね。やっと総理大臣杯の本戦に出場できるようになりました。あと何年かでは叶うのではないかと考えています。ぜひ、その後押しをお願いします。

併せて、少子化の中でどうやって大学が生き残っていくかというのも、大きな課題です。選手たちのニーズに合わせた強化、普及、育成を考えてリーグ戦の運営をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

——大学サッカーも盛り上がってくれることを期待しています。本日はありがとうございました。

平成26年度 第47回埼玉県大学サッカーリーグ戦

●1部リーグ

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失差
1	城西大学	10	3	1	31	45	11	+34
2	尚美学園大学	9	2	3	30	25	16	+9
3	埼玉工業大学	8	2	4	28	29	13	+16
4	獨協大学	5	5	4	19	23	24	-1
5	文教大学	5	6	3	18	19	24	-5
6	共栄大学	5	7	2	17	18	30	-12
7	埼玉大学	2	10	2	8	19	31	-12
8	芝浦工業大学	2	11	1	7	16	42	-26

●2部上位リーグ

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失差
1	駿河台大学	6	0	0	21	24	8	+16
2	東京電機大学	1	2	3	7	12	14	-2
3	東洋大学	1	3	2	7	13	21	-8
4	目白大学	1	4	1	4	10	16	-6

●2部下位リーグ

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失差
1	埼玉県立大学	4	2	0	15	20	9	+11
2	東京理科大学	4	1	1	15	16	8	+8
3	日本工業大学	2	4	0	7	10	27	-17
4	聖学院大学	1	4	1	4	7	13	-6

県リーグ優勝校と関東リーグとの昇降格 2006年～

	県リーグ優勝	関東リーグとの昇降格
2006	城西大学	城西大学が関東2部に昇格
2007	平成国際大学	城西大学が県リーグへ降格
2008	平成国際大学	
2009	文教大学	
2010	城西大学	城西大学が関東2部に昇格 尚美学園大学(2005年～)が県リーグへ降格
2011	東京国際大学	平成国際大学が関東2部に昇格 城西大学が県リーグへ降格
2012	東京国際大学	東京国際大学が関東2部に昇格
2013	尚美学園大学	東京国際大学が関東2部優勝、1部に昇格
2014	城西大学	東京国際大学が関東2部へ降格 平成国際大学が県リーグへ降格

運営会議が開催されました

3月21日、埼玉スタジアムのボールルームにおいて、第3回運営会議を開催しました。理事会で決定した平成27年度予算などを含めて説明がありました。ポイントは次の通りです。

予算について

- ・ 経常収益計より、3億3,288万8,000円
(前年比、2,294万2,000円増)

事業について

- ・ 4種リーグは500チーム程度参加予定。12月、九州にて「全日本少年サッカー大会」が開催される。
- ・ 今年度は国体の関東ブロック大会が埼玉で開催される。成年は熊谷、少年は埼玉、女子は駒場・秋葉の森が会場
- ・ 関東少年サッカー大会は新座、朝霞で開催
- ・ SMCサテライト講座は、27年度の開催を見送る



国体成年男子



国体少年男子



国体女子

利益相反取引についての徹底

今後、SFA 理事本人または理事親族が経営・実質的に支配する法人、理事が役員となっている法人との取引は、以下の場合を除き原則禁止とする。

- ・ SFA に利益となる……相見積り比較にて経済的優位が明らか
- ・ 合理的理由がある場合……当社独占で競合先・比較検討先が無く、他に発注先が無い場合等

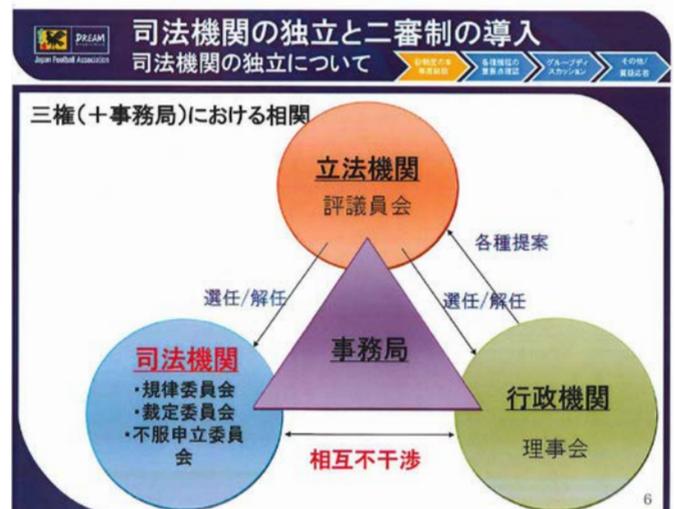
規律委員会からの報告

2014年度規律委員会説明会・抜粋

司法機関の独立と二審制の導入
2014年4月から

概要:

- (1) JFAの司法機関(規律/裁定委員会)が**独立した**(決定は最終、理事会の干渉を受けない)
- (2) JFA司法機関のメンバーは、JFAの理事、委員、職員等との**兼務が不可**となった
- (3) **JFA 不服申立委員会を創設**
⇒ **各都道府県協会・リーグの規律委員会で科された懲罰について不服申立が可能となった**



- 司法機関の独立及び二審制(不服申立委員会の設置)の導入
 - 1) JFAの司法機関(規律/裁定委員会)が**独立した**(決定は最終、理事会の干渉を受けない)
 - 2) JFA 司法機関のメンバーは、JFA の理事、委員、職員等との**兼務が不可**となった
 - 3) **JFA 不服申立委員会を創設**
→→→各都道府県協会・リーグの規律委員会で科された懲罰について不服申立が可能となった
- 不服申立委員会の概要(懲罰規定第33~46条)
都道府県 FA/ リーグの規律委員会が下した懲罰について、当人が不服な場合、JFA 不服申立委員会に**不服を申し立て**、再審議を求めることができる。

●不服申立が可能な懲罰(同第34条)

- 1 3試合以上の出場停止(公的職務停止/サッカー関連活動の停止)
- 2 2ヶ月以上の出場停止(公的職務停止/サッカー関連活動の停止)
- 3 100万円以上の罰金
- 4 没収
- 5 賞の返還
- 6 下位ディビジョンへの降格
- 7 2点以上の勝点の減点
- 8 観衆のいない試合の開催
- 9 中立地における試合の開催
- 10 競技会への参加資格の剥奪
- 11 新たな選手の登録禁止
- 12 除名
- 13 その他の懲罰のうちで上記いずれかと同等程度又はそれ以上のもの

●不服申立が行われた場合、中断するかどうか(同第41、42条)

- 1、2 ……処分は**中断しない**
- 3~13 ……処分は**中断する**

(実施してしまった場合、都道府県協会などには原状回復義務がある)

【確認事項として】

●懲罰規定に則った懲罰決定/

JFAの規律委員会・裁定委員会で決定する懲罰(第3条)

JFAの規律委員会・裁定委員会は、都道府県FA等の規律委員会に、**JFA懲罰規定に従って**懲罰を決定する権限を委任する。ただし、**以下に該当する場合、都道府県FA等の規律委員会には決定権はなく、JFAの規律委員会・裁定委員会が懲罰を決定する**

- 1 6ヶ月以上の出場停止(公的職務停止/サッカー関連活動の停止)
- 2 罰金
- 3 没収
- 4 下位ディビジョンへの降格
- 5 除名

6 競技会への参加資格の剥奪

7 新たな選手の登録禁止

8 懲罰効果において実質的に前各号いずれかと同等か又はそれ以上と判断されるもの

●聴聞の機会の確保(第19条)

規律委員会及び裁定委員会は、**原則として当事者に対し事情聴取を行い、その意見を聞くものとする。**ただし、当事者の合意がある場合又は対象者が事情聴取を拒否若しくは無断欠席した場合は、この限りではない。

→→→原則は、当事者に事情聴取しなければならない。

●不服申立可能な旨の通知(第22条)

1 規律委員会及び裁定委員会は決定した懲罰を当事者に**書面にて**通知するものとする。

2 当該通知には以下の項目を含めなければならないものとする。

(1) 当事者の氏名(団体の場合は団体名および代表者名)並びに住

所

(3) 主文(判断の結論。効力発生日も含む)

(4) **判断の理由(必ず、根拠となる条文を記載すること)**

(6) **不服申立手続きの可否及びその手続の期限**(第35条参照)

●JFA基本規定・懲罰規定改定(2015年3月施行)

→→→FIFAからの要求を踏まえて

【通常裁判所への提訴の禁止】

サッカーに関連した紛争を通常の裁判所に提訴してはならない。

【懲罰の種類追加】

選手等に対する懲罰：**「社会奉仕活動」**を追加

加盟団体に対する懲罰：**「再試合」**を追加

【参考】

不服申立案件……4件(2014年11月時点)

※ 不服申立却下 1件、不服申立棄却 1件、原懲罰の一部無効

1件、原懲罰の無効 1件

その他

・事務局員として、阿部将茂氏(1級審判)を採用

・決算に向けて、締切順守の協力要請(財務委員会より)

・平成28年度から関東サッカー協会(現在は千葉県協会)が法人化することになった。

■審判委員会より

「シーズン前研修会」を開催しました

2015年シーズン開幕を前に、県内の様々な審判が集い「シーズン開幕前研修会」が戸田市の新曽小学校と新曽多世代交流館さくらパルで開催されました。

「シーズン前にみんなで確認しようというのが目的」(岡田泉・審判委員長)とし、約30名の皆さんが午前中はトレーニング、午後は座学という一日を過ごしました。

午前中は木村滋指導部長がインストラクターとなり、トレーニングを行いました。その中からメニューを2つ紹介したいと思います。

一つは4人組のスクエアパスの中心に主審役が入るものです。主審がパスに当たってしまうことがよくありますが、これをいかに避けるのかというのが狙いです。最初は予測もできますが、パススピードが上がると、主審から見て背後からのパスも出て来る場面も出てきました。常にいいポジションを取らなければ、主審役の背中や足に、パスが当たってしまいます。

「そんなんじゃ、(選手に) 囲まれちゃうよ!」(木村氏)

審判の資質向上のための助言として、木村指導部長の檄が飛びます。要素にはフィジカルトレーニングも含まれており、なかなかきつい内容でした。

もう一つは、ロングパスに対する攻撃側と守備側の競り合いのジャッジをどう見極めるかというもの。主審をしているときに、



木村インストラクターを囲んでの質疑応答



スクエアパス。審判の皆さんの「個人技」も問われます。

DFが局面を変える長いロングキックを蹴る場面に遭遇すると思います。そのボールを競り合った場合、守備側が攻撃側をつかんでヘディングしていないか、また攻撃側も守備側を押さえていないかどうか、という判断は遠くからだと難しいものです。局面に対して近づきながらもどう角度を作るか。ファールをしているのかどうかを的確に見極めることができるのかどうか。

「ファールをしているならば、そこでしっかりジャッジすること。いかに流さないかが課題」(木村氏)

ロングパスの精度など、参加メンバーのプレーレベルなど条件もありますが、このトレーニングもスプリントを伴うなど負荷のかかるものでした。

「いかに予測をするのか。そういうことも考えながらトレーニング

をしてもらうことが大事ですし、審判の皆さんがどのように資質向上を目指しているのを知ってもらえるとありがたいですね」(木村氏)

県審判委員会では「レフェリートレセン」を開催しています。ご興味がありましたら、ご連絡ください。

【埼玉県レフェリートレセン】

埼玉県サッカー協会の登録審判員で、技術と資質の向上に意欲がある方でしたらどなたでも参加できます。事前の申込は必要ありません。審判手帳をご持参の上、直接会場へおいください。雨天でも基本的に行います。また、インストラクターの方のご参加もお待ちしております。

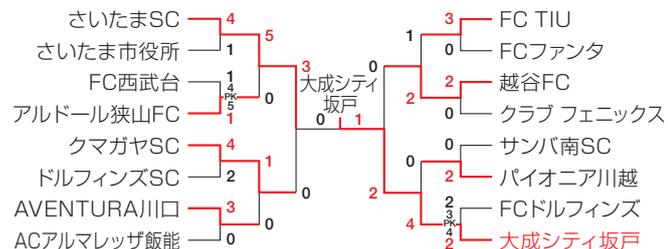
審判講習会予定一覧				
5月16日(土)	レフェリートレセン	道満Aグラウンド	10:00~12:00	実技
6月27日(土)、28日(日)	上級審判員研修会 JFAレフェリーキャラバン	未定	未定	未定
7月 4日(土)	レフェリートレセン	上尾南高校グラウンド	16:00~18:00	実技
8月	レフェリートレセン	各試合会場	未定	実技研修(高校選手権予選)
9月26日(土)	レフェリートレセン	道満Aグラウンド	16:00~18:00	実技
10月10日(土)、11日(日)	強化審判員研修会	未定	未定	未定
11月22日(日)	レフェリートレセン	道満Aグラウンド	10:00~12:00	実技
12月 5日(土)	レフェリートレセン	未定	未定	講演会
1月23日(土)	レフェリートレセン	上尾南高校グラウンド	17:00~19:00	実技
2月	レフェリートレセン	各試合会場	未定	実技研修(高校新人大会)
3月12日(土)	レフェリートレセン	惣右衛門グラウンド 戸田市スポーツセンター	10:00~12:00 12:00~14:00	実技 講義

大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

平成27年度埼玉県社会人サッカー連盟会長杯

1月18日~3月1日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他



※大成シティ坂戸は初優勝。2位のさいたまSCと共に「彩の国カップ」出場が決まった。

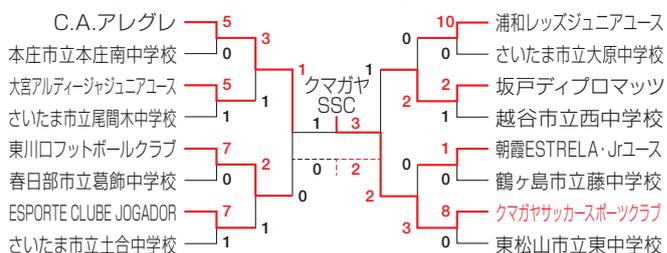


決勝 大成シティ坂戸 vs さいたまSC

3種

第17回埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会

2月7日~3月7日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他



※優勝はクマガヤサッカースポーツクラブ



優勝 大成シティ坂戸



準優勝 さいたまSC



優勝 クマガヤサッカースポーツクラブ



準優勝 クラブ アトレティコ アレグレ



第3位 坂戸ディプロマッツフットボールクラブ



第4位 東川口フットボールクラブジュニアユース



決勝 クマガヤサッカースポーツクラブ vs クラブ アトレティコ アレグレ



3位決定戦 坂戸ディプロマッツ vs 東川口フットボールクラブジュニアユース
写真提供：ユナイテッドフォトプレス

大会記録 ● 県外大会

4種

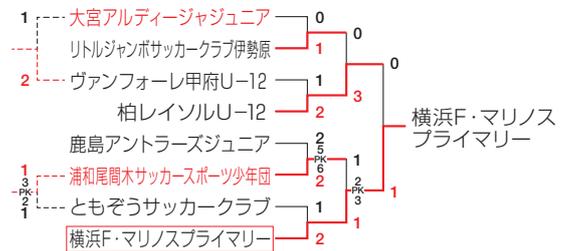
JA全農杯ヒビリンピック2015小学生8人制サッカー大会 in 関東
3月21日、22日

● 予選リーグ

Aグループ		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	大宮アルディージャジュニア	2	1	0	6	3	+3	7
2位	柏レイソルU-12	2	0	1	6	2	+4	6
3位	水戸ホーリーホックEIKOジュニア	1	0	2	4	4	±0	3
4位	ブルーボタンサッカークラブ	0	1	2	3	10	-7	1

Dグループ		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	ともぞうサッカークラブ	3	0	0	9	3	+6	9
2位	浦和尾間木サッカースポーツ少年団	1	1	1	6	5	+1	4
3位	USスポーツクラブ	1	1	1	6	6	±0	4
4位	前橋ジュニア	0	0	3	2	9	-7	0

● 決勝トーナメント



3位 浦和尾間木サッカースポーツ少年団



1回戦 浦和尾間木 vs 鹿島



1回戦 大宮アルディージャ vs リトルジャンボ



準決勝 浦和尾間木 vs 横浜F・マリノスプライマリー

キャンノンガールズ・エイト関東大会
JFA 関東ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会
 2月21日～22日 ひたちなか市総合運動公園陸上競技場・スポーツ広場

●予選リーグ

A組		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	東京選抜AYAME	3	0	0	10	0	+10	9
2位	宇都宮JFCソフィア	1	1	1	4	4	±0	4
3位	神奈川トレセンU-12ラソ	0	2	1	2	8	-6	2
4位	埼玉U-12 UT	0	1	2	1	5	-4	1

B組		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	埼玉U-12 SP	2	0	1	7	4	+3	6
2位	群馬トレセン レッド	2	0	1	5	2	+3	6
3位	東京選抜TSUBAKI	2	0	1	6	4	+2	6
4位	千葉県選抜U-12・ブルー	0	0	3	1	9	-8	0

D組		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	東京選抜SUMIRE	2	1	0	24	3	+21	7
2位	埼玉U-12 TC	2	1	0	16	3	+13	7
3位	千葉県選抜U-12・ホワイト	0	1	2	4	20	-16	1
4位	群馬トレセン ホワイト	0	1	2	4	22	-18	1

E組		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	栃木県U12トレセン女子 空	2	1	0	10	3	+7	7
2位	東京選抜SAKURA	2	1	0	7	3	+4	7
3位	神奈川トレセンU-12リヤン	1	0	2	3	5	-2	3
4位	埼玉U-12 DX	0	0	3	0	9	-9	0

●決勝リーグ

2組		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	神奈川トレセンU-12パンデ	1	1	0	5	0	+5	4
2位	埼玉U-12 TC	1	1	0	4	0	+4	4
3位	埼玉U-12 SP	0	0	2	0	9	-9	0

※優勝は千葉県選抜 U-12・イエロー

女子

第21回選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」in 熊谷

3月25日～29日 熊谷スポーツ文化公園ほか

●順位別トーナメント・1位

1回戦	本庄第一	2-1	広島文教女子
2回戦	本庄第一	1-2	飛鳥(東京都)
3位決定戦	本庄第一	0-1	日ノ本学園(兵庫県)

●順位別トーナメント・3位

1回戦	久喜	2-2	帝京長岡(新潟県)
		(0PK3)	
21～24位決定戦	久喜	0-1	明成(宮城県)
	久喜	4-0	高岡商業(富山県)

●順位別トーナメント・4位

1回戦	花咲徳栄	2-2	鳳凰(鹿児島県)
		(5PK3)	

事務局だより

●ブラジルW杯終了後色々ありましたが新生日本代表がスタートしたようですね。どんなストーリーになるか楽しみです。(坂庭)
 ●最近、近所の散歩を始めました。子どもの頃に通っていた小学校や中学校、遊んでいた公園や友達の家、勤務していた保育園……懐かしすぎて毎回なかなか散歩から帰れません(笑・こいち)
 ●少しずつ暖かくなってきた3月、結婚式と披露パーティーという春を感じさせる2回のお祝いに行ってきました！形式こそ違いましたが、どちらの夫婦も幸せそうで私もお裾分けしてもらった気分です。(かのう)
 ●ようやく気候も暖かくなり、いよいよ本格的にサッカーシーズンが開幕を迎えます。これまで開幕へ向けて様々な準備をしてき

たチームや選手、そして審判もその成果を発揮する時が来ました。私はそんな大事な時期に怪我をしてしまいました……。幸い軽症でしたが、皆様は怪我のないように良いシーズンをお過ごしください。(阿部)
 ●花の季節が始まりました。梅が終わり、桜、菜の花、ハナミズキなどなど。花々の開花で季節の移ろいを感じる余裕が欲しいものです。(石川)
 ●桜の花も満開の時期を過ぎ、新年度が始まろうとしています。新規で審判資格を取得される方も多いと思いますが、選手同様に頑張ってください。
 また、Kickoff 操作等で不明な事項は、登録デスク(050-2018-1990)へお願いします。(藤澤)

編集後記

タイミングが悪かったのか、花見はほぼできず(苦笑)。さて、皆さんのチームはいいスタートを切ることができたでしょうか。浦和レッズ、大宮アルディージャにも注目ですが、なでしこリーグの2チームにも期待しています。レッズレディースの連覇なるか、エルフェンが上位に食い込めるのか。今回、これまであまり触れなかった大学リーグを紹介しました。意外と近くでやっているものです。少し視野を広げてみませんか？(荒川)

1回戦	山村学園	5-0	桐陽(静岡県)
2回戦	花咲徳栄	0-4	京都精華
	山村学園	0-0	前橋育英(群馬県)
		(3PK1)	
25位決定戦	山村学園	0-1	京都精華
27位決定戦	花咲徳栄	1-1	前橋育英(群馬県)
		(5PK6)	

●順位別トーナメント・6位

1回戦	埼玉栄	0-0	熊谷女子
		(4PK3)	
2回戦	埼玉栄	1-2	山陽学園(広島県)
43位決定戦	埼玉栄	1-2	南山(愛知県)
45～48位決定戦	熊谷女子	1-2	鶴岡東(山形県)
	熊谷女子	0-0	八幡商業(滋賀県)
		(0PK3)	

※優勝は常葉学園橘。4位に本庄第一、23位久喜、26位山村学園、28位花咲徳栄、44位埼玉栄、48位熊谷女子

フットサル

関東フットサルリーグ入れ替え戦

2月1日～22日 小瀬スポーツ公園体育館

●関東2部参入戦	BFC/KOWA群馬	4-3	烏天狗/IMPERIO浦和FC
●女子参入戦	Amaralo/峰FC	1-1	深谷フットサルクラブ
		(2PK0)	
●女子入れ替え戦	The sunkisst	3-1	アヴェントゥーラ川口(関東7位)

ユースフットサル選抜トーナメント2015 関東大会

2月21日 ひらつかアリーナ

●Aグループ

Aグループ		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	武相高校	1	0	1	7	5	+2	3
2位	甲府レジェンズU-18	1	0	1	7	7	0	3
3位	埼玉県選抜U-18	1	0	1	7	9	-2	3

※フットボウズ・フットサルと鹿島学園が本大会に出場する

インフォメーション

●JFA レディースサッカーフェスティバル開催

3月2日、埼玉スタジアム第4グラウンドで「JFAレディースサッカーフェスティバル」を開催しました。サッカー経験の有無は問わず、初心者も歓迎のイベントです。今回は高校生、社会人を含めて幅広い年代の方々45名が参加し、午前中はさいたまSCの選手によるクリニック、午後はチーム関係なくバラバラになってゲームを楽しんでもらいました。



●岡田副会長、JFA 評議員に選出

3月29日に2015年度JFA 定時評議員会が開催され、新たなJFA 評議員として埼玉県から岡田泉副会長が選任されました。任期は4年となります。